

ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会について

1 背景

「福島・国際研究都市（イノベーション・コースト）構想」（平成26年6月）でプロジェクトの一つとして提案された、リサイクル事業を柱とするスマート・エコパークについては、昨年度、「スマート・エコパークに関する検討会」において、課題等について様々な観点から検討が行われた。本年3月には、同検討会の中間整理が取りまとめられ、その中で、「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会（仮称）」の設立が提言された。

このため、その組織や活動等の内容を検討し、研究会を発足するもの。

2 目的

環境・リサイクル分野において、県内外で産学官によるネットワークを形成し、研究開発や人材育成等に取り組むことで会員の技術基盤の強化と持続可能なリサイクルのシステムの構築を図り、新たな事業を生み出す。以上を通じて浜通り地域を中心に新たに環境・リサイクル産業の集積を進める。

3 取組内容

- ・ 研究会の運営の企画
- ・ 事業可能性調査
- ・ ワーキンググループの設置・運営
- ・ 各プロジェクトの実施（研究開発、実証、事業化の推進）

4 検討テーマ案

ア 炭素繊維

航空宇宙、自動車、風力発電等の分野において、今後、大きな需要が見込まれ、その再資源化と有効利用が課題となる炭素繊維強化プラスチック(CFRP)について、リサイクル技術の研究およびリサイクル材料の実用化、有力企業誘致、販路開拓を通して県内企業への積極的な技術導入を図る。

イ 太陽光パネル

再生可能エネルギー導入に伴って、大量に生産・設置された太陽光パネルについて、今後、大量に廃棄されることが見込まれるため、その再資源化と有効利用について、リサイクルの技術や仕組みの構築の研究を行う。

ウ バッテリー

蓄電池、中でも自動車用、住宅用、産業用、スマートグリッド用等に使われるリチウムイオン電池については、今後、大幅な用途拡大が見込まれるため、そのリユースシステムの構築を行うとともに、最終的な廃棄段階での有用資源の高効率なリサイクルシステムの構築につなげる検討も行う。

エ 石炭灰混合材料

県内の浜通り地域には石炭火力発電所の集積があり、発電に伴い多くの石炭灰が発生し、建設資材への再資源化が進められている。この再資源化技術を活用して、現状の再資源化資材の特徴を精査した上で、その特徴にあった適用先の検討、適用先に合わせた資材の開発、石炭灰を使った新たな高付加価値材料の開発による販路開拓などを行う。

オ 小型家電リサイクル

小型家電リサイクル法が施行され、鉄・アルミ・金・銀・銅・レアメタル等の資源回収が進められているが、現時点ではまだ県内の市町村では回収・処理の取組は少ないことから、福島県を収集区域に含む認定事業者とともに、県内でのリサイクルの推進のために効率的に回収する仕組みを構築する。

5 構成メンバー

設立準備会メンバーに関連企業や団体を加える形とし、広く募集を行う。

6 目標スケジュール

「資料2の別紙」のとおり